殿

令和6年　　月　　日

株式会社

代表取締役

**改善指導書**

あなたは度々遅刻を繰り返し、今までに口頭で注意を受けています。注意後しばらくは改善されますが、暫くするとまた遅刻が増えることとなっています。

そこで口頭指導だけではなく、ここに文書により改善を促します。以下記載欄に、自分の頭で考え、対策を実行してください。

１．そもそもなぜ遅刻はいけないことなのか、事由を箇条書きにて記載すること。

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

２．遅刻をしないための具体的対策を3つ記載すること

|  |
| --- |
| （１） |
| （２） |
| （３） |

３．２で記載した対策を○月より実行すること。

3か月後に改善されているか再度チェックします。このような指導書を出さなくても良くなるようにしてください。

以上